

すいかのセル成型苗直接定植に適する作型と仕立法

農業研究センター 農産園芸研究所 野菜部
担当者：田尻一裕

研究のねらい

育苗の省力と定植作業の簡素化を図るためセル成型苗が利用されつつあるが、品目や作型によってセル成型苗を直接定植すると生育制御が困難になったり、品質が低下するなどの問題があり、すいかではセル成型苗直接定植の作型による適応性がほとんど把握されていない。

このため、セル成型苗直接定植の作型による適応性を検討し、すいかのセル成型苗を利用した適正な栽培技術を確立する。

研究の成果

- 1 すいかのセル成型苗直接定植は作型によって適応性が異なり、促成、半促成及び早熟作型では生育及び収量・品質面で直接定植が可能である。
- 2 生育を早めるため、直接定植後も親蔓の摘心行わない親蔓・子蔓仕立てとする。
- 3 促成栽培は、容量の比較的大きい36穴で本葉3.5～4枚、あるいは50穴で本葉3～3.5枚でセル成型苗を直接定植する。
- 4 半促成及び早熟栽培では、容量の小さい72穴で本葉2.5～3枚で定植する。

普及上の留意点

- 1 植替え及び抑制作型における直接定植は、生育及び収量が不安定である。
- 2 老化苗にしないよう、あらかじめ定植の準備をしておく。
- 3 定植が低温期の作型では、定植直後の温度設定をやや高めに行い、活着を促進する。

表1 セル成型苗直接定植と作型

作型	定植時の 苗の状態	定植後 の生育	着果性	商品果	商品果	品質 (外観)
				収量	平均重	
				(kg/a)	(kg)	
促成	セル成型苗			214	3.84	
	慣行苗			157	4.01	
半促成	セル成型苗			391	5.83	
	慣行苗			364	5.43	
早熟	セル成型苗			700	9.33	
	慣行苗			668	8.90	
植替	セル成型苗	×		405	6.05	
	慣行苗			496	7.40	
植替	セル成型苗			461	6.87	
	慣行苗			526	7.85	
抑制	セル成型苗			396	5.28	
	慣行苗			443	5.91	

植替：促成の植替、植替：半促成の植替

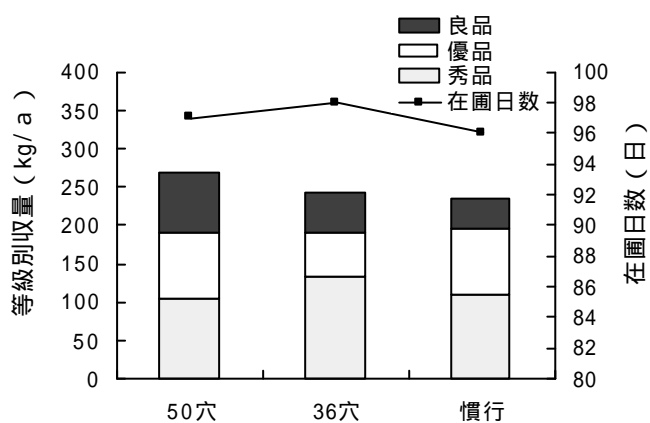


図1 セル容量と等級別収量（促成）

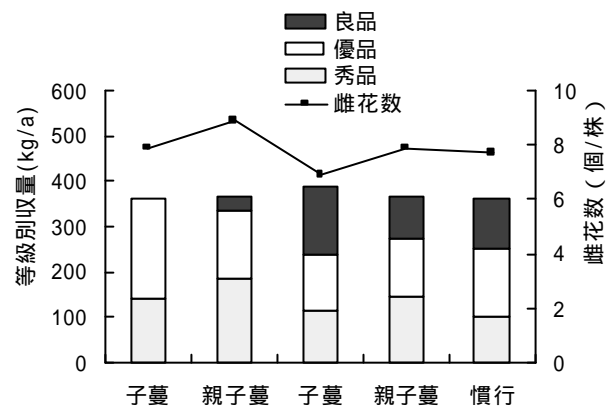


図2 セル容量と仕立て法（半促成）



写真1 セル成型苗